

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注：  は改善箇所を示す。



リアブレーキマスターシリンダー

基準不適合発生箇所

リアブレーキマスターシリンダーにおいて、ピストン径の設計が不適切なため、使用過程においてブレーキフルードが劣化しベーパーロックが発生した際、ブレーキペダルのストロークが大きくなる。そのため、ブレーキペダルを最大に踏んだ場合でも最悪の場合、リアブレーキが効かなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、リアブレーキマスターシリンダーを対策品に交換する。

識別 対策後は車台番号末尾付近に赤色のペイントマークを塗布する。